

## 2020年教育改革 ～園に求められているもの～

新学習指導要領では、「なんのために学び」「なにができるようになるのか」が重視されるようになります。

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と学習評価を充実させる目的で「どのような力（資質・能力）を身につけるのか」まで踏み込んだ指導が行われます。

新学習指導要領で育成しようとしている資質は、三つです。

◎学びに向かう力・人間性…どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

◎知識・技能…なにを理解しているか、なにができるか

◎思考力・判断力・表現力等…理解していること・できることをどう使うか

確かな学力と健やかな体、そして豊かな心を総合的に育み、子どもたちを新時代に適應できる人材に育成するため、主体的かつ対話的な深い学びを取り入れた授業が行われるようになるのです。

### ■なにを学ぶのか？

3・4年生…「外国語活動」が導入される

5・6年生…「英語」が教科になる

### ■どのように学ぶか？

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成するため、これまでのような一方的な授業ではなく、主体的かつ対話的な深い学びを取り入れた授業へと変化します。主体的かつ対話的な深い学びを取り入れた授業とは、言い換えれば「アクティブラーニング」な授業ということ。

例えば、ディベート（議論）やグループワーク、調査学習や体験学習、参加・体験型の授業へと変わります。

その学習の基礎となるのは、やはり保育園生活です。

そのため、平成29年に保育所保育指針が改定され（幼児期の終わりにまでに育てて欲しい10の姿）という形で、園としてもその準備を行ってきました。

健康な心と体	自立心	協同性	道徳的規範意識の芽生え	社会生活との関わり
思考力の芽生え	自然との関り 生命尊重	数や図形・標識や 文字等への関心・感覚	言葉による 伝え合い	豊かな 感性と表現

遊びを通じて総合的に指導することが求められ、新学習指導要領で育成しようとしている三つの資質へ繋がっていくのです。

園として行っている活動には、入園のしおりにも書いていますが、「モンテッソーリ教育」

「異年齢保育」「英語」「あるて」「心育のとりくみ」「一人ひとりを尊重した保育」「集団生活で育まれる保育」「スポーツ教室」などがあります。

今年度、11月から開始した「IQパズル」など、子どもの無限の可能性を引き出せるように…子ども達の未来に繋がる種がまけるように考えながら保育を行っています。

子ども達にただ伝えるのではなく、「なぜ？WHY」を問いかけながら、子ども達と一緒に考えながら関わっていければと思っています。

（橋本）